

教育委員会と区内の都立学校が連携

教育委員会と区内の都立学校が協定を結び
「かかわり」と「つながり」を重視した共に支える教育を推進します

区立学校と区内にある都立学校が、児童・生徒だけでなく教職員も交流し、互いの教育活動に関する知識・技能を共有・活用したり、施設を利用したりする等、協力し、支え合って、相互の教育活動の充実を目指します。

区立学校 (杉並区教育委員会)

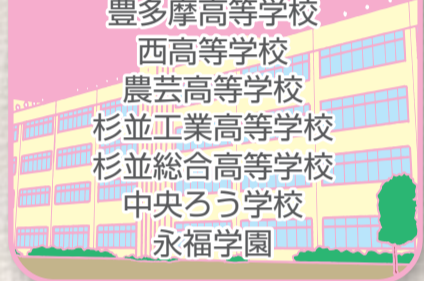
区立小学校 42校
区立中学校 23校
済美養護学校



平成26年3月24日に包括協定締結式を行いました

区内の都立学校

荻窪高等学校
杉並高等学校
豊多摩高等学校
西高等学校
農芸高等学校
杉並工業高等学校
杉並総合高等学校
中央ろう学校
永福学園



包 括 協 定



互いの教育活動を充実・発展させます

学校の特色を生かし様々な活動を行います

学校間の結びつきを強化します

相互に連携した教育活動の例

- 土曜授業や夏季学習教室での高校生による学習支援
- 地域清掃や防災訓練の小・中学校と高校の合同実施
- 小・中学校を活用した高校生の職場体験活動の実施



教員間の交流(研修会)

高校の校長先生から、中学校の教員が進路指導の充実について話を聞きました。

三谷小学校 + 農芸高校



連携授業

農芸高校の三谷農場で一緒に虫を探したり樹木の花や種子を観察しました。

高円寺中学校 + 杉並高校



体験授業、学校訪問

3年生が高校を訪問し体験授業を受けました。

高井戸中学校 + 中央ろう学校



特別支援教育 コーディネーター による講演会

土曜授業で聴覚障害について、理解を深めました。

連携協働事業推進連絡会の開催

年に2回程度開催し、区立学校、区内の都立学校の連携協働による教育活動が円滑に実施できるよう、各学校の教育活動や連携協働による取組について情報交換を行います。

開校して1年

永福小学校統合についてのアンケート調査を実施しました

旧永福南小学校と旧永福小学校の統合により、昨年4月に新たに永福小学校が開校し、1年が経過しました。統合後の児童の様子や教育活動の状況等を把握するため、本年2月に児童・保護者・教員を対象にアンケート調査を実施しました。

寄せられた回答では、学校統合により児童数が増え、新しい環境にも慣れ、交友関係の広がりや学校行事が活発化したことに対し、肯定的に受け止める声が多くありました。その一方で、今後解決していくべき課題についてもあわせてご意見をいただきました。

これらのご意見につきましては、今後の学校運営や新しい学校づくりの取組に活用してまいります。

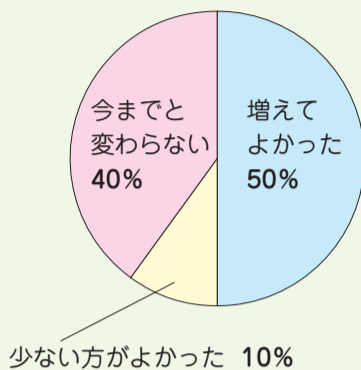
調査結果の詳細につきましては、教育委員会ホームページに掲載しているほか、区政資料室（区役所西棟2階）でもご覧いただけます。

保護者の主な自由意見（要旨）

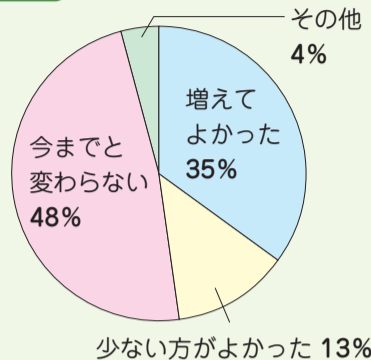
- 両校が譲り合って成り立っている姿は素晴らしいと思う。
- 新しいお友達としてみんな一緒に遊んでいる様子が微笑ましい。
- 子どもは順応性があるので、統合に対して不安視しているのは周囲の大人たちだった様な気がする。
- 先生方が、きめ細かく見守っていることを感じ安心した。
- 2つの学校が1つになるということは、しばらくは大変なのだと実感している。
- 高学年になると今までの環境との違いがありすぎて、子どもの学校での様子も変わってしまい、かなり負担が大きい。

統合して児童数（学級数）が増えたことについて

児童 ※回答数=417件

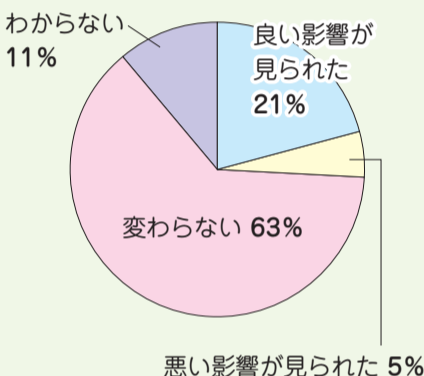


保護者 ※回答数=276件



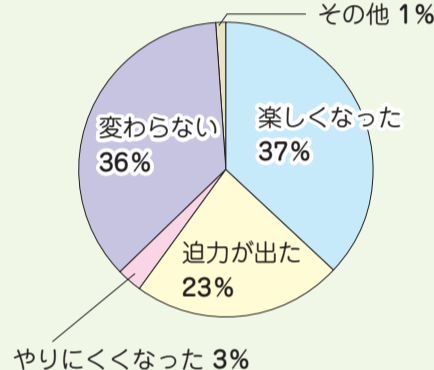
学級数が増えたことによる児童の人間関係の変化について

教員 ※回答数=19件



遠足や運動会、学芸会などの行事の変化について

児童 ※回答数=545件



問合せ：学校支援課 新しい学校づくり係

高井戸第二小学校新校舎 竣工



平成26年3月末、杉並区立高井戸第二小学校の新校舎が完成しました。教育委員会では、これまで、学校施設の耐震化について計画的に取り組んで来ました結果、同校で全ての小・中学校の耐震改築が終了しました。延べ9回にわたる改築検討協議会による検討を踏まえ、高機能かつ多機能な学習環境の整った学校、安全で快適な学校、地域の公共施設として開かれた学校を改築基本方針として定め、平成24年に着工、この度竣工しました。施設の特徴としては、低学年・中学年・高学年のエリアごとに教室の開放性やオープンスペースの大きさ、配置に変化を持たせ、学年に応じた多機能な学習空間を形成できるようにしているところです。

また、図書室、コンピュータ室機能を盛り込んだラーニングセンターを児童エリアの中心に配置しました。壁を曲面にして吹抜けを取り入れた開放的で明るい空間は、児童の読書、学習意欲を高める場として期待されています。児童昇降口は、不審者の侵入対策として2階に設け、約90mのデッキ通路を昇降口の導線とするとともに、運動スペースとしても活用できるようにしました。

近隣の住環境と調和した校舎となるよう体育館は、区内初の地下建設となりました。地域の防災拠点としても機能するように防災倉庫、開放会議室を体育館に近接配置しています。さらに、改築校初の学童クラブの併設など、施設の複合化を図りました。

5月20日には、約160人もの方々にご臨席賜り、落成式を執り行いました。児童の合唱やTAKANIチアダンス部の演技等があり、この新しい校舎で元気一杯学校生活を送っている児童の姿をみる事ができました。

問合せ：学校整備課 教育施設計画係

夏の企画展「古代の環境 — 遺跡が語る暮らしと自然」

向方南遺跡などの最新の発掘成果から古環境を復元しました。
 期間：7月26日（土）～10月5日（日）午前9時～午後5時 場所：郷土博物館（大宮1-20-8）
 休館日：毎週月曜日、毎月第3木曜日（祝日・休日の場合は翌日）
 観覧料：100円（中学生以下無料） ☎03-3317-0841

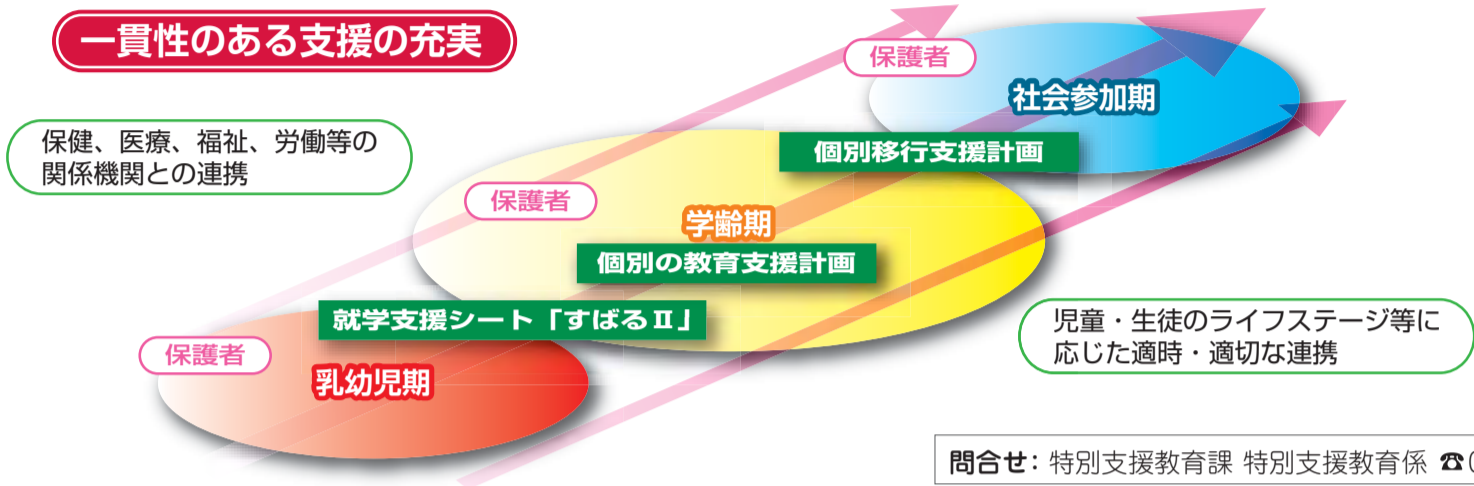


特別支援教育 ～「一本につなぐ」一貫性のある支援～
就学支援シート「すばるⅡ」、「個別の教育支援計画」の活用について

特別支援教育は、全ての学校において、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に対し、その教育ニーズに応じて、適切な指導と必要な支援を行います。杉並区では、その実現のための重要なツールとして、就学支援シート「すばるⅡ」「個別の教育支援計画」があります。乳幼児期から学校卒業後まで一貫し適切な指導・支援を受けることができるよう、個に応じて作成されます。

「すばるⅡ」は、就学にあたり、保護者の方と就学前機関等（保育園・幼稚園・療育機関等）が共に記入し作成して各学校へ提出します。学校は提出された「すばるⅡ」を参考に、「個別指導計画」を作成し、児童・生徒への指導・支援に役立てます。

「個別の教育支援計画」は、学校など教育機関が中心となって作成し、本人や保護者の希望を踏まえて、教育、保健・医療、福祉等が、連携して児童・生徒を支援していく長期計画です。本人や保護者に対する支援に必要な情報が記載され、乳幼児期から学校卒業後までの一貫性のある支援を行っていくための重要な「ツール」となるものです。



青少年委員の活動を紹介します

共につながり 地域で育てよう
 夢いっぱい青少年!

児童館

- 地域中・高校生委員会
- 地域子育てネットワーク

地域

- 青少年育成委員会
- ふれあい運動会
- 中学校対抗駅伝大会
- 学校震災救援所運営連絡会

学校

- 学校支援本部
- 学校運営協議会・学校評議員

地域懇談の場づくり 中学生の活躍の場づくり

青少年委員
 小学校区に1人

家庭・地域・学校のパイプ役として活動しています

この春に、平成26・27年度の委員（39名）が決定しました。あなたの学校区の青少年委員をよろしく願っています。

☆日々こんな活動をしています

担当学校区の、地域教育連絡協議会などの事務局となり、青少年教育振興のための懇談会の開催や、中学生の地域参加・参画の支援を行っています。加えて、推薦母体である青少年育成委員会、学校支援本部の事務局、学校運営協議会委員等として活動しています。

活動を通して培った人の輪を生かし、イベントボランティアをPTAに紹介したり、子ども地域活動促進事業などの場で親子のかかわりについて相談を受けるなどの活動をしています。

また、わんぱく相撲や舞祭、中学校対抗駅伝大会などにも実行委員やお手伝いとして参加し、子どもたちの成長を日々見守り・応援しています。

委員個々での活動だけでなく、委員同士が協力していくために協議会を組織して、全体会の開催、研修の実施などにより、情報の共有や資質向上を図っています。

地域の特色に合わせた活動を通して、地域のニーズに応え、より多くの子どもたちの笑顔獲得を目指して、日々研鑽を積んでいます。

... ☆何かありましたらお気軽にお声かけください。

問合せ: 学校支援課 家庭・地域教育担当

ユネスコ教室

「世界に触れる夏」

これまで数百人の小・中学生が参加した「ユネスコ教室」。毎回、異文化に触れた子どもたちは大きく成長します。今では、キャンプを企画する杉並ユネスコ協会青年部に所属している子どももいます。53回目の今年度も8日間の国際交流プログラム「ユネスコ教室」を開催します！ 大自然の中、一緒にご飯を食べたり、踊ったりするキャンプやJICA訪問、青年部の高校生・大学生が企画する楽しいプログラムを通じて、外国人学生と一緒に文化を越えた友情を育んでみませんか！ Join us！



- 【日程】 ●開級式 8月2日(土) 午前10時～正午 ●事前学習 8月3日(日) 午前10時～正午 ●宿泊学習 8月4日(月)～8月7日(木)
- JICA訪問 8月8日(金) 午前9時～午後1時 ●閉級式 8月9日(土) 午後1時～3時
- 【場所】 事前学習など＝センオン杉並ほか 宿泊＝『国立那須甲子青少年自然の家』(福島県西白河郡西郷村大字真船字村火6-1)
- 【内容】 キャンプファイヤー、ゲーム大会、ウォークラリーなど
- 【対象】 区内在住・在学の中学生および小学校6年生 【定員】 50名(先着順) 【参加費】 18,000円
- 【申込】 はがき・FAX・メールに「行事名(ユネスコ教室)、住所、氏名(フリガナ)、年齢、性別、電話番号(FAX)、学校名・学年、保護者氏名」を書いて、社会教育センターへ
- 〒166-0011 杉並区梅里1-22-32 ☎03-3317-6621 FAX 03-3317-6620 ✉shakyo-c@city.suginami.lg.jp
- 【締切】 7月5日(土) 【問合せ】 杉並ユネスコ協会・板倉 ☎03-3395-4020 または 社会教育センター担当へ



分館企画展「過去の記憶のよみとき方—「個」の先にあるもの—」

矢嶋又次氏の「記憶画」をよみときながら荻窪の街の歴史を紹介します。

期 間：5月24日(土)～8月31日(日) 午前9時～午後5時

場 所：郷土博物館分館(天沼3-23-1) 天沼弁天池公園内

休館日：毎週月曜日、毎月第3木曜日(祝日・休日の場合は翌日)

観覧料：無料

☎03-5347-9801



次代を担う子どもたちのために創設された

「次世代育成基金活用事業」 杉並区中学生海外留学 (第2期)

【留学期間】平成26年8月20日(水)～9月1日(月)

杉並区在住の中学生25名がオーストラリア連邦ニューサウスウェールズ州ウィロビー市に派遣されます。杉並区とウィロビー市との友好関係を深め、現地での体験や課題解決に向けた活動を通して、グローバルなものの方・考え方や豊かな国際感覚を養います。



5月14日(水)の結団式では、派遣生徒を代表して、杉森中学校 朝田智幸君から力強い決意表明がありました。



今後、事前学習会で研究課題を決め、グループごとに解決に向けた活動計画を立て、現地での交流体験やホームステイに向けて準備を進めています。

問合せ：済美教育センター ☎03-3311-0021

平成25年度杉並区中学生海外留学派遣生徒



食育への 取組

杉並区の学校給食は「心のこもった、手作り料理による楽しい給食」を目指し、安全でおいしい給食を実施するとともに、「楽しく食べて心とからだを育むすぎなみの子、大人になっても健康で楽しく暮らせるすぎなみ」を総合目標に食育を推進しています。

杉並第九小学校では「一人一人を大切に作る」という教育方針のもと、卓上コンロと土鍋を少人数で囲む「鍋給食」や、調理職員が教室を巡回し、残りご飯をその場でおにぎりにする「おにぎり隊」の活動等を行っています。

給食のおいしさを保護者のみなさんに伝え、家庭でも作っていただくため、「教職員のおすすめの一品」をレシピとして、パンフレットを作成しました。



松庵小学校では、4年生が八丈島の自然・産業等について学び、ムロアジを一人一匹さばく「八丈島 浜のかあさんと語ろう会」が公開授業で行われました。



その日の給食は、八丈島の特産物である食材を使った「トビウオのハンバーグ」。子どもたちは、産地・生産者との交流を深めながら、健康的な食生活を営むことができる判断力を培い、食を通じた生命、自然を尊重する態度を養いました。

問合せ：学務課 保健給食係

「歯と口の健康に関する作品」の 入賞作品が決定しました！

杉並区歯科医師会・杉並区学校歯科医会の主催により毎年実施されている「歯と口の健康に関する作品募集事業」が、「歯と口の健康週間(6月4日～10日)」にあわせて今年も実施されました。区立小・中学校の児童・生徒から、2,501点の作品の応募があり、6月28日(土)にセッション杉並で優秀作品の表彰式が行われました。



《会長賞》 桃井第一小学校3年 松永 風香



《会長賞》 杉並第二小学校5年 野口 こども

図画・ポスター入賞者

- 《金賞》 杉並第二小学校1年 折間 佳歩
- 桃井第一小学校3年 藤原 美南
- 桃井第一小学校3年 樋口 武十
- 杉並第四小学校4年 遠國 紗英
- 杉並第四小学校4年 星 安里紗
- 杉並第四小学校4年 矢代 妃和莉
- 天沼中学校2年 岡 美菜子
- 西宮中学校2年 古屋 寧々
- 西宮中学校2年 金 泉水
- 《銀賞》 7名(小学校4名・中学校3名)
- 《銅賞》 9名(小学校5名・中学校4名)

標語入賞者

- 《金賞》 富士見丘小学校2年 高橋 愛
- 桃井第一小学校4年 藤平 碧華
- 富士見丘小学校6年 松本 蓮
- 西宮中学校1年 窪田 優真
- 東原中学校2年 板谷 俊太郎
- 井萩中学校3年 上野 日向里
- 《銀賞》 6名(小学校3名・中学校3名)
- 《銅賞》 7名(小学校4名・中学校3名)
- 《金賞》 方南小学校5年 望月 天翔
- 《銀賞》 2名(小学校1名・中学校1名)
- 《銅賞》 2名(小学校2名)

作文入賞者



《区長賞》 天沼中学校2年 小松 英恵

問合せ：学務課 保健給食係



教育委員会の動き (26年3月～26年5月)

教育委員会は、毎月第2・4水曜日に開催され、必要に応じて臨時会を開催しています。

【教育委員会開催状況】 ・定例会4回 ・臨時会1回 ・議案25件 ・報告事項22件

【主な案件】 ◎は議案、○は報告事項

- ◎ 杉並区立新泉小学校、杉並区立和泉小学校及び杉並区立和泉中学校の廃止と杉並区立新泉和泉小学校及び杉並区立和泉中学校の設置並びに小中一貫教育校の学園名について
- 平成26年度小学校教科用図書及び特別支援教育教科用図書の採択事務について
- 杉並区教育委員会と区内都立学校との連携協働に関する包括協定の締結について
- 「富士見丘小学校教育環境懇談会まとめ」と今後の取組について
- 「就学委員会のあり方」検討報告について
- 高円寺地域における新しい学校づくり懇談会の設置について
- 区立永福小学校統合についてのアンケート調査結果について
- 杉並区中学生レスキュー隊活動指針の改定について
- アンネ・フランク展とアンネのバラの植樹について

●再生紙を使用しています